

ハローキャリアワーク通信4号

8月20日 いよいよ「第1回 世田谷グルメサミット」(主催学校法人村川学園 東京山手調理師専門学校 協力 世田谷区 世田谷区教育委員会 深沢高等学校 世田谷総合高等学校 松原高等学校)が行われました。これまで、6月から昨日まで3回、ワークショップを行い、中華まんの新商品の開発について考え、作り方を学び(衛生学も含め)グループで自分たちの中華まんのポスターを作り、昨日、仕込みをして今日を迎えました。



左の蒸籠に入った中華まんが子どもたちが考案した商品です。上の図のポスターにあるように左から「パンダマン、豚まん、ウサギマン、トマトびっくり箱、ねこまん」です。販売開始の前に、参加した高校生のプレゼンと子どもたちの紹介が行われ、主催した村川学園からは「世田谷グルメサミット」の趣旨の説明がありました。

た。参加予約された方々が集まり、プレゼンや子供たちの紹介を参観されて、いよいよ販売開始となりました。



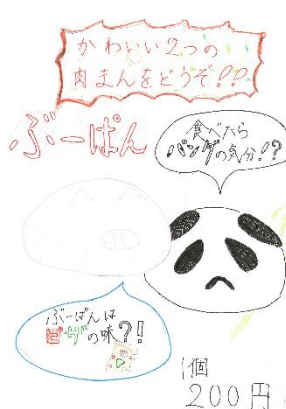
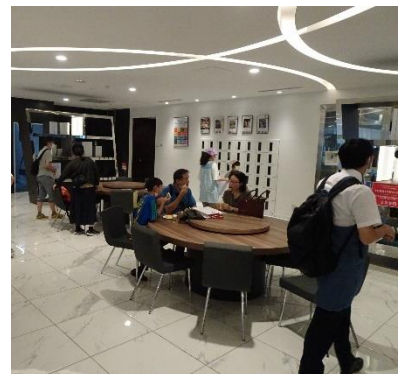
お客さんに自分たちの「中華まん」のウリを説明する役割の子どもたちが、列を作ったお客さんに説明し、それを聞いてくださっていました。受付で、注文の中華まんのカードを受け取り、蒸している場所で受け取ります。受け渡しも子どもたちの役割です。(蒸籠からの取り出しは、加山先生が行って下さいました。)

思いの外、多くのお客さんで、子どもたちも戸惑いがありました。段々と慣れてきました。



受け渡しも、注文の中華まん間違わないように確認しながらうまく行っていました。購入して下さってお客さん

は、隣にある飲食のスペースで、食べ始めていました。そこでも子どもたちは、飲みもを運ぶ（無料のウーロン茶など）食べ終わった「お皿」「お手拭き」回収、飲み終わってコップの引き取りなど、各役割分担に従って行っていました。お客さんからは「美味しい」「よくこんな工夫ができましたね」「パンダ、豚まん、かわいらしい」「猫マン、レモンの味がします。面白いですね」「ウサギマン、杏子ですか?」「トマトびっく箱、ピザみたいですよ」などたくさんのお褒めの感想をいただきました。（販売開始20分ほどで完売）



このグルマンサミットの活動で、初めて出会った子どもたちも、回数を重ねるうちに、仲間としての想いが生まれ、別れの時には、当初にもらった名札代わりに名刺の残りで、名刺交換（裏にメッセージを書いていた）を行っていました。人と出会い、教えを受け、その思いを知り共有することで、新たな思いや考えが芽生えたことと思います。繰り返し行った「振り返りカード」にそのことが記されていました。